

愛称：Better World 世界インパクト投資ファンド（資産成長型）

マンスリーレポート

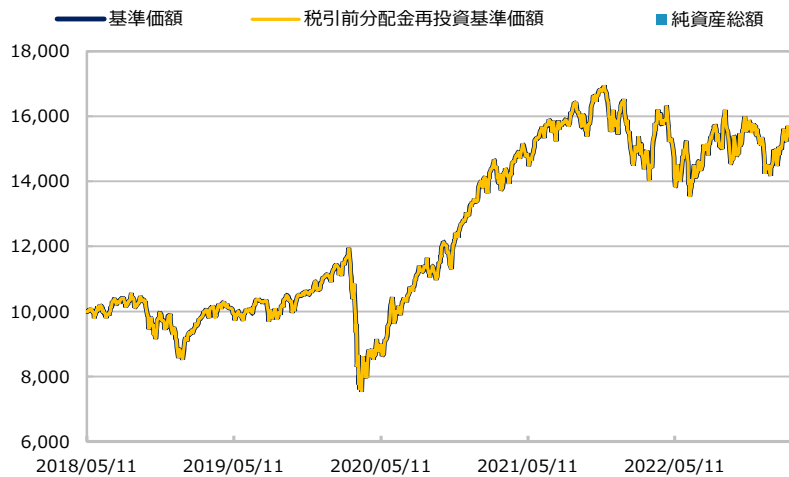
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2023年02月28日

ファンド設定日：2018年05月14日

日経新聞掲載名：世インパ成長

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	15,460	+479
純資産総額（百万円）	44,739	+1,513

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 カ月	2023/01/31	3.2
3 カ月	2022/11/30	0.3
6 カ月	2022/08/31	2.8
1 年	2022/02/28	3.6
3 年	2020/02/28	44.6
設定来	2018/05/14	54.6

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2018/08/10	0
第2期	2019/08/13	0
第3期	2020/08/11	0
第4期	2021/08/10	0
第5期	2022/08/10	0
設定来累計		0

- ※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	100.1	-0.8
現金等	-0.1	+0.8
合計	100.0	0.0

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「世界インパクト投資マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	-53	+9	-62
先物等	0	0	0
為替	+555	-	-
分配金	0	-	-
その他	-23	-	-
合計	+479	+9	-62

- ※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：Better World 世界インパクト投資ファンド（資産成長型）

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2023年02月28日

※ このページは「世界インパクト投資マザーファンド」について、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ポートフォリオ特性値（倍）

	当月末	前月比
PER	16.5	-0.4
PBR	2.8	+0.0

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

投資カテゴリー・テーマ別構成比（％）

	当月末	前月比
衣食住の確保	33.1	-2.1
持続的農業と栄養支援	3.9	-0.4
健康促進	19.6	-1.4
住居の確保	3.5	-0.3
水問題と公衆衛生	6.1	+0.1
生活の質の向上	35.4	+0.4
教育と職業訓練	4.3	-0.0
金融サービス	12.7	+0.1
デジタルデバイド	9.6	-0.1
安全と危機管理	8.8	+0.3
環境問題	31.5	+1.7
代替エネルギー	6.0	-0.1
環境保全	4.1	+0.1
資源の効率化	21.5	+1.8
マルチテーマ	0.0	0.0
その他	0.0	0.0
合計	100.0	0.0

※ カテゴリー・テーマの名称はウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが独自に設定したものであり、今後変更される場合があります。また、投資テーマのうち、複数の投資テーマ（マルチテーマ）にまたがる事業を行う企業へ投資する場合もあります。

組入上位10カ国・地域（％）

	当月末	前月比
1 アメリカ	59.0	-0.6
2 イギリス	5.0	+0.1
3 オランダ	4.2	-0.4
4 中国	3.7	-0.2
5 南アフリカ	3.0	+0.0
6 フィンランド	2.3	+0.0
7 イスラエル	2.3	+0.1
8 ブラジル	2.0	-0.3
9 台湾	2.0	+0.0
10 インドネシア	2.0	+0.1

組入上位10通貨（％）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	62.7	-0.4
2 ユーロ	11.3	+0.8
3 イギリスポンド	3.6	+0.1
4 南アフリカランド	3.0	+0.0
5 香港ドル	2.4	-0.2
6 ブラジルリアル	2.0	-0.3
7 台湾ドル	2.0	+0.0
8 インドネシアルピア	2.0	+0.1
9 カナダドル	1.8	+0.1
10 スイスフラン	1.7	+0.1

※ 構成比を示す比率は、現物株（含むETF）の時価総額対比です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：Better World 世界インパクト投資ファンド（資産成長型）

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2023年02月28日

※ このページは「世界インパクト投資マザーファンド」について、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位5銘柄

（組入銘柄数 66）

銘柄 国・地域	テーマ	比率 (%)	コメント
1 ウェスティングハウス・エア・ブレーキ・ テクノロジーズ アメリカ	資源の効率化	3.0	世界の鉄道産業向けに機関車や機関車部品、システムを提供している同社は、貨物輸送においてトラック輸送の4倍エネルギー効率に優れている鉄道輸送の更なるエネルギー効率化や安全性の向上に貢献しており、輸送部門の脱炭素化に寄与している点を社会的インパクトとして評価。KPI：鉄道の燃料効率化によって削減されたCO2の量（2015年以来、単位：百万トン）
2 グローブライフ アメリカ	金融サービス	3.0	米国の保険会社である同社は低中所得層を主な対象とし、保険料を抑えた基本的な生命保険商品を提供しており、これまで保険を購入することができなかった人々の生活の質の向上に寄与する点を社会的インパクトとして評価。KPI：保険加入者の保険金額の平均（業界平均値比、%）
3 ボストン・サイエンティフィック アメリカ	健康促進	3.0	心血管疾患治療の分野におけるリーディング・プレーヤーである同社は、開胸手術により患者への負担を軽減することができる低侵襲治療に用いられる埋め込み型デバイスやバルーンカテーテルを製造・販売しており、患者の生活の質の向上に貢献する点を社会的インパクトとして評価。KPI：同社のサービスを受けた患者数（単位：百万人）
4 ハッベル アメリカ	資源の効率化	2.8	電力会社向け送電・配電設備の部品・機器を製造する同社は、安全性と効率性に優れた製品を提供することで再生可能エネルギーの接続や老朽化が進んだ電力設備の更新など、電力グリッド（送配電系統）の信頼性・耐久性の向上と脱炭素化に貢献する点を社会的インパクトとして評価。KPI：資源の効率化、再生エネルギーへの転換、重要インフラ施設関連ビジネスが売上高で占める比率（単位：%）
5 ゴータディ アメリカ	デジタルデバイス	2.6	世界最大級のドメイン・レジストラである同社は、ドメインの登録・管理サービスや、ホスティングサービス等、サイトの開設・運営に必要なサービスを個人事業主や中小事業者向けに提供することでビジネスにおけるウェブ戦略を包括的に支援する点を社会的インパクトとして評価。KPI：個人事業主・中小事業者のウェブでのビジネス展開で産み出された経済的価値（EVA）（単位：10億米ドル）

※ 比率は、現物株（含むETF）の時価総額対比です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



※ このページは「世界インパクト投資マザーファンド」について、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位6～10銘柄

銘柄 国・地域	テーマ	比率 (%)	コメント
6 アジレント・テクノロジー アメリカ	健康促進	2.5	米国のライフサイエンス企業である同社はゲノム解析過程における様々な試験機器、分析機器を提供しており、ゲノム解析の前進に貢献することでゲノム医療の発展に寄与する点を社会的インパクトとして評価。KPI：同社のサービスを利用する研究施設の数
7 トレイン・テクノロジーズ アメリカ	資源の効率化	2.5	米国の空調管理システムメーカーである同社は、商業施設や住居向けに省エネ・低炭素排出の製品を開発・提供。空調機器に用いられる冷媒によるオゾン層破壊や環境への影響が問題視され国際的な規制強化が進む中、環境負荷の小さい次世代冷媒に対応した空調機器の開発に注力している点を社会的インパクトとして評価。KPI:同社製品の採用によって削減された二酸化炭素排出量（単位：百万トン）
8 サン・コミュニティーズ アメリカ	住居の確保	2.4	プレハブ（工場生産）住宅による住居コミュニティを所有するREITである同社は、米国の25州以上の地域で全米平均を大きく下回る賃料・価格で住宅を提供しており、低所得者層向けに質の高い住宅を提供することで生活の質の向上に努めている点を社会的インパクトとして評価。KPI：中位所得以下の所得層向けの住宅（Affordable Housing）の供給戸数
9 ノキア フィンランド	デジタルデバイス	2.3	経済・社会のデジタル化が加速し、通信インフラの普及が重要視される中、同社の市場におけるリーダーとしてのポジショニング、スケールメリット及び強い知的財産の基盤を活かして通信機器を適切な価格で提供している点を社会的インパクトとして評価。KPI：同社製品・サービスを採用する企業の最終顧客数
10 サイバーアーク・ソフトウェア イスラエル	安全と危機管理	2.3	イスラエルのセキュリティソフトウェア企業である同社は、組織の情報システムにおける特権アクセス管理に特化したセキュリティソフトを提供しており、企業の情報システム保護に貢献する点を社会的インパクトとして評価。KPI：同社のサービスを利用する顧客数

※ 比率は、現物株（含むETF）の時価総額対比です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

※ このページは「世界インパクト投資マザーファンド」について、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

2月のグローバル株式市場は下落しました（現地通貨ベース）。米国市場は1月の米雇用統計を背景にFRB（米連邦準備制度理事会）による早期利上げ停止への期待が後退すると、下落に転じました。米長期金利（10年国債利回り）が再び上昇基調となる中、その後も米国経済の力強さを示す経済指標の発表が相次いだことから、金融引き締め長期化への警戒感が一段と高まり軟調な展開が続きました。欧州市場は、ECB（欧州中央銀行）とBOE（イングランド銀行、中央銀行）が予想通り0.5%の大幅利上げを決定したものの、利上げのピークが近いとの見方が広がり早期の利上げ終了期待が高まったほか、企業の好決算も相場を支え堅調に推移しました。アジア市場は、米金融引き締めの長期化観測や米中の対立懸念が逆風となり下落しました。

<運用状況>

2月のポートフォリオのパフォーマンスはプラスとなりました（日本円ベース）。3つのインパクト・カテゴリーのうち、生活の質向上と環境問題がプラス寄与となり、衣食住の確保はマイナス寄与しました。投資テーマ別で見ると、環境保全（環境問題）、安全と危機管理（生活の質向上）等のテーマがプラス寄与した一方、住居の確保と健康促進（衣食住の確保）がマイナス寄与しました。個別銘柄では米国の電気・電子製品メーカーのハッセル、カナダのコンサルタント会社のスタンテックがプラスに寄与しました。一方、ブラジルの教育サービス会社のYDUQSパルティシパソエス、不動産サービス会社のカチタスの株価が下落したことはマイナスとなりました。

当月は、ドイツの半導体メーカーのインフィニオン・テクノロジーズを購入した一方で、米国の在宅ケア・ホスピスサービス大手のアメディシス、ライフサイエンス・素材科学会社のコーニクレッカDSMを売却しました。

<見通しと方針>

ロシア・ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ、そしてサプライチェーン（供給網）の混乱のように、マクロ環境の不確実性が依然として続く中、景気後退のリスクが高まっています。物価と資金調達コストの上昇を背景に経営環境の厳しさが増すなか、規律ある資本政策に基づき、健全な資本構成を持つ企業が競争において優位に立つと考えます。このような考えに基づいて、財務レバレッジ（有利子負債の割合）が高く、利払い費用の上昇リスクがある銘柄についての見直しを行っています。特に不動産セクターにおいては、産業構造上、レバレッジが高いことに加えて、インフレが続く中、コスト増加分を賃料に転嫁することが容易ではないことを考えると、以前と比べ、投資妙味が薄れたと考えています。一方で、エネルギー供給問題や気候変動リスクに関する関心が高いなか、当戦略における「資源の効率化」と「代替エネルギー」テーマの重要性は増していると考えて

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



※ このページは「世界インパクト投資マザーファンド」について、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

います。このような観点から、米国のデザイン・設計ソフトウェア企業であるオートデスク（資源の効率化）に注目しています。同社は建設、土木インフラエンジニアリング、そして製造業向けに設計図の作成を支援するCAD（コンピューター支援設計）ソフトウェアを提供しています。同社の顧客である建設業や製造業においては、その工程で生じる二酸化炭素排出や廃棄物の削減が求められていますが、同社のCADソフトは素材の調達を含む建設施工段階で生じる二酸化炭素や建物の運用によって生じる二酸化炭素の排出量のシミュレーションを可能にするほか、効率的な設計を通じて無駄な廃棄物の削減を可能とする点を社会的インパクトとして評価しています。また、建設業や製造業においてもネットゼロをはじめとしたサステナビリティへの取り組みが強化されるなか、同社のソフトウェアはその流れを支える役割を果たすことで安定的に収益を拡大することが可能と評価しています。

現在の厳しい経済環境を考慮し、金利上昇と高インフレが逆風となるビジネスモデルを有する企業については慎重姿勢とする一方で、中国の経済再開と世界の様々な市場における消費需要の動向に注目しています。引き続き、投資テーマ別調査の拡大に取り組み、革新的な技術を有する企業、安定成長が見込まれる企業および継続可能な競争優位性を有する企業に注目し、ビジネス・サイクルおよび投資テーマの分散に努めます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



ファンドの特色

- マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指します。
 - 当ファンドは、「世界インパクト投資マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
 - 銘柄選定にあたっては、社会的課題の解決（社会的インパクト）に取り組む企業に着目し、個々の企業のファンダメンタル分析等を行い、投資魅力のある銘柄に投資します。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - 実質的な運用は、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが行います。
 - マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーへ委託します。
 - 毎年8月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配金額を決定します。
 - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株価変動に伴うリスク

株価は、発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響されます。これらの要因により、株価が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。

■ 為替リスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて外貨建資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます。また、当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があり、この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ カントリーリスク

投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制が変更されたりする場合があります。さらに、外国政府が資産の没収、国有化、差押えなどを行う可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

新興国は、先進国と比べて経済状況が脆弱であるとされ、政治・経済および社会情勢が著しく変化する可能性があります。想定される変化としては、次のようなものがあります。

- 政治体制の変化
 - 社会不安の高まり
 - 他国との外交関係の悪化
 - 海外からの投資に対する規制
 - 海外との資金移動の規制
- さらに、新興国は、先進国と比べて法制度やインフラが未発達で、情報開示の制度や習慣等が異なる場合があります。この結果、投資家の権利が迅速かつ公正に実現されず、投資資金の回収が困難になる場合や投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない可能性があります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ 信用リスク

株式の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

投資リスク

■ 流動性リスク

実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

愛称：Better World 世界インパクト投資ファンド（資産成長型）

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2023年02月28日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

2036年8月12日まで（2018年5月14日設定）

決算日

毎年8月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨーク証券取引所の休業日
- 英国証券取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ロンドンの銀行の休業日

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.98%（税抜き1.80%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ : https://www.smd-am.co.jp コールセンター : 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。 ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融一般社団法人 先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		※1
株式会社 S B I証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○		※2
G M Oクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○	○		○		
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号	○					
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第114号	○					
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第24号	○	○				※2
西日本シティ T 証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○					
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第20号	○					
三菱 U F J モルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号	○			○		
株式会社 S B I 新生銀行（S B I 証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※2 ※3
株式会社 S B I 新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※2 ※4
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第8号	○					
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○			○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長（登金）第5号	○			○		
P a y P a y 銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第6号	○	○		○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		
株式会社三菱 U F J 銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○	○		○		※2
株式会社三菱 U F J 銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○	○		○		※5
三菱 U F J 信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第33号	○		○	○		※2

備考欄について

※1：「ダイレクトコース」でのお取扱いとなります。※2：ネット専用※3：委託金融商品取引業者 株式会社 S B I 証券※4：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※5：委託金融商品取引業者 三菱 U F J モルガン・スタンレー証券株式会社（オンライントレードのみ）

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。